

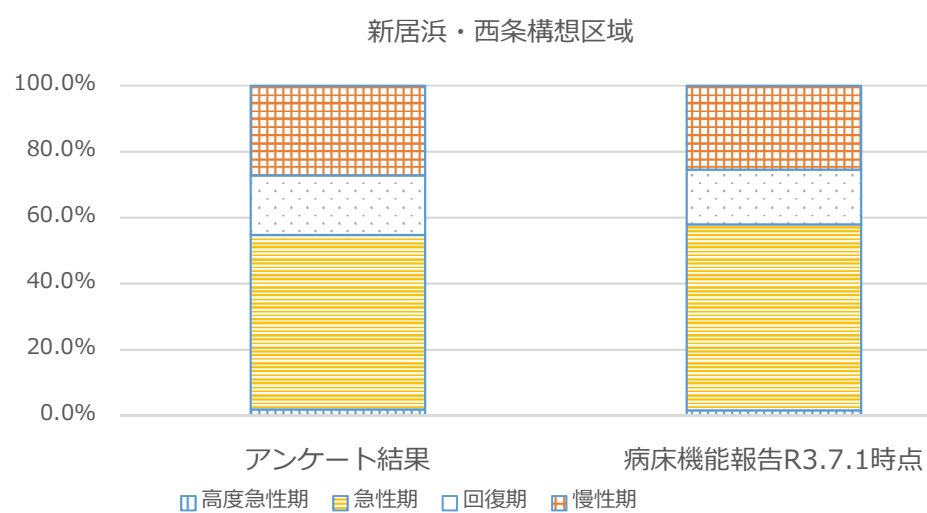
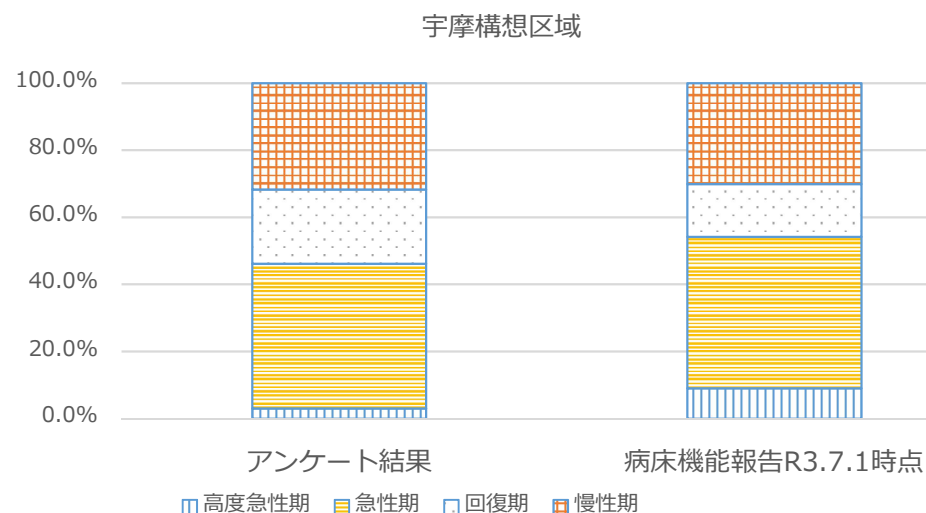
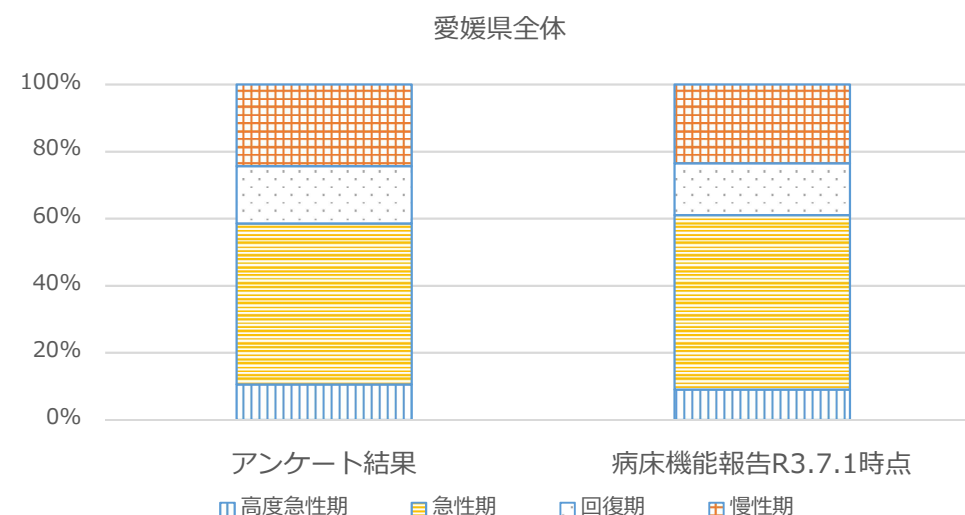
## アンケート結果について(Q3 各医療機能別の病床数)

アンケートでは、病床ごとの機能区分を調査  
病棟ごとの報告である病床機能報告と比較すると、

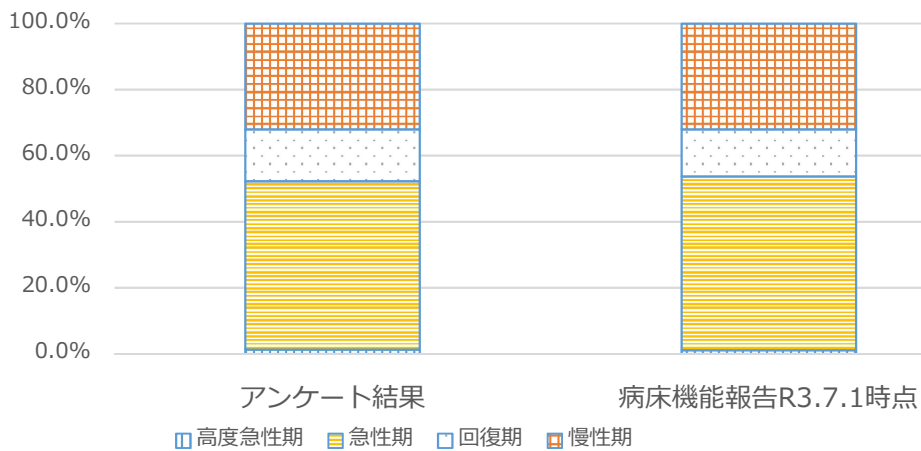
- ・全体として、急性期が微減、回復期が微増しており、病床機能報告上の急性期病床の一部が回復期として運用されている状況が把握できた。
- ・宇摩構想区域及び八幡浜・大洲構想区域の高度急性期病床について、実態が把握できた。

一方で、

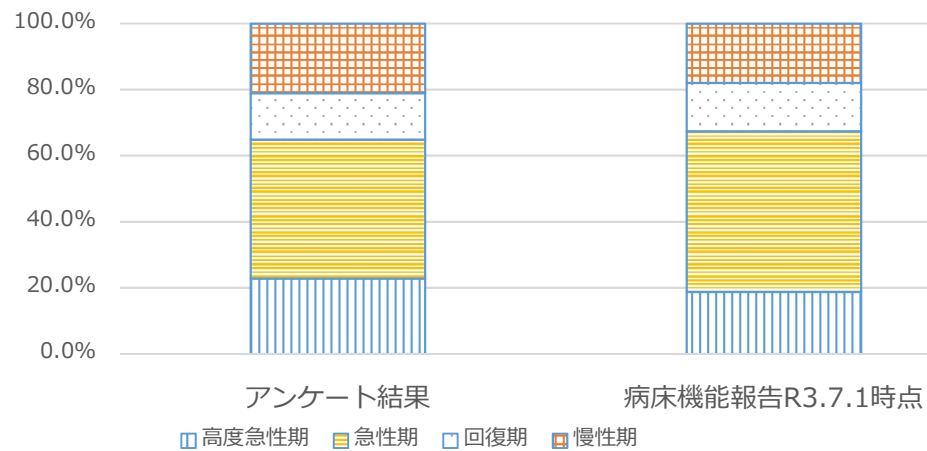
- ・病床機能報告と大幅な相違は見られなかった。
- ・圏域ごとの差はあるものの、回答率は全体で 60.2%に留まっており、回答率の向上には各医療機関に個別に働きかける必要があるほか、回答内容のエラーチェックにも労力を要した。



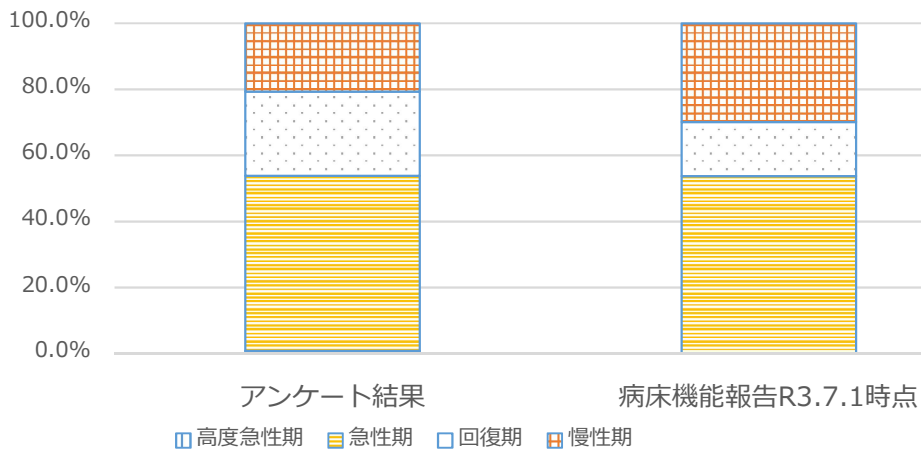
今治構想区域



松山構想区域



八幡浜・大洲構想区域



宇和島構想区域

